

令和2年4月1日

エコオフィス宣言事業所取組紹介

宣言オフィス名	銀鈴タクシー株式会社	
ホームページURL	https://sites.google.com/ginreitaxi.com/siten/	
オフィスの概要	所在地	京都市南区上鳥羽南鉢立町27番地
	業種・業務内容	一般乗用旅客自動車運送事業
	従業員数	171名
主な取組項目	別紙	
	(記載は自由です。関西広域連合のHPにて、エコオフィス宣言事業所取組紹介コーナーに掲載いたします。) 別紙	
取組の具体的な内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">できれば、写真を掲載してください。 (個人が特定できないよう御配慮ください。)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">できれば、写真を掲載してください。 (個人が特定できないよう御配慮ください。)</div>	
省エネにつながる業務等の紹介	(省エネにつながる業務を行っている場合、業務内容や実績を紹介してください。記載は自由です。関西広域連合のHPにて、エコオフィス宣言事業所取組紹介コーナーに掲載いたします。) 別紙	

銀鈴タクシー株式会社エコドライブ活動

所在地 : 京都市南区上鳥羽南鉢立町 27 番地

事業内容 : 運輸業(タクシー)

従業員数 : 171名

車両数 : 108 台

1. 京都議定書に基づき、環境問題に取組むエコドライブ活動

弊社は京都に創立して 60 周年をむかえ、京都議定書の使命の元、エコドライブ活動は事故防止活動に繋がると認識して、エコドライブ活動に取り組んでいます。

2. エコドライブ推進日

毎月 1 日と 15 日は一斉点呼を実施しており、この日をエコドライブ推進日として、アイドリングストップの励行、地球温暖化に対する CO₂ の削減を実行することで燃費の向上など、環境問題に取り組む決意を乗務員一同に周知徹底させています。



3. 環境問題教育の実施

2 ヶ月毎に、社内の各班毎に車両点検及び班会議を実施。エコドライブ推進事務局担当者がエコドライブ環境保全研修資料を作成し、資料に基づいて、全乗務員と環境問題について考え、運輸業界が取り組むことのできる環境保全活動を実施する。これにより、全乗務員のエコに対する意識が向上し、アイドリングストップを励行することで燃費が向上、エコドライブ運転をすることで、危険予知運転の向上に伴い、危険運転や速度超過などをしなくなり、交通事故が減少しました。

法定点検なども、整備士がオイル交換・エアコンフィルターの目詰まり等を入念にチェックしている。また、入出庫時に暖気運転している乗務員を見かけたら、エンジンを切るように促したり、当該乗務員がいない場合は、他の乗務員同士でも常に気を配って、皆でアイドリングストップに取り組んでいます。社内においても、事務所内・車庫内のすべての照明器具を LED に取替えて CO₂ 削減による地球温暖化防止に貢献。

4. 燃費データの管理

全車両の毎日の総走行距離・燃料給油量を管理し、月毎に燃費データーを出して、掲示することで乗務員の燃費向上意識が高まる。

5. 低燃費車両の導入

平成 20 年からアイドリングストップ車を導入し、現在 100%がアイスト車両

弊社で使用しているタクシー車両は、液化石油ガス(LPG)を燃料としている低公害車です。CO₂ 排出量が同一排気量エンジン・同一燃料供給方式のガソリンエンジンに比較して約12~15%、ディーゼルエンジンに比較しても約6%少なくなっています。

さらに、平成30年からジャパンタクシー LPG-ハイブリッドシステム導入し始め、通常のタクシーですと燃料満タンで約500km走行できますが、ジャパンタクシーですと約3倍も走行距離が伸びるので、環境負荷を減らして長距離走行することができます。

また、乗務員へエコドライブを推奨しています。グリーン経営に参加した平成21年度から、燃費などをデータ管理して、これらのデータを基に乗務員へ個別指導を行っています。また、燃費向上を目標に車庫内・無線迎え時・待機時等でのアイドリングストップの励行を義務付けております。

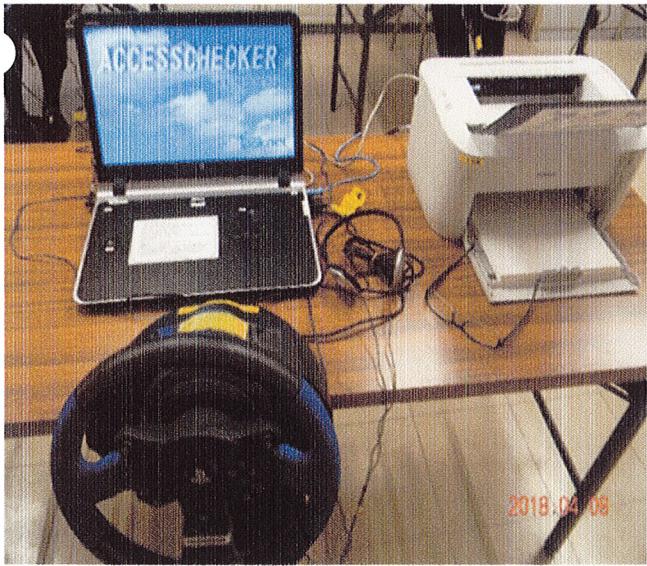
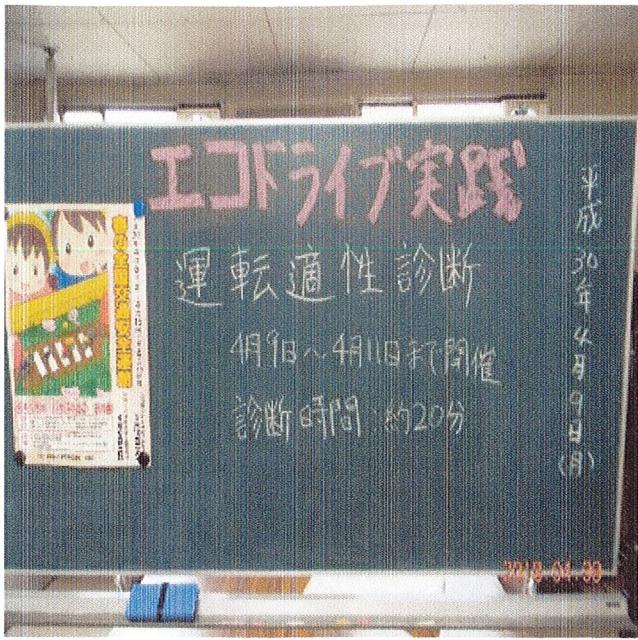


6. 安全運転機器

営業車がタクシーである事から、お客様の要望によりあらゆる道路を通行するので、事故防止対策として、全車両にバックアイカメラ、ドライブレコーダーを設置しています。2ヶ月毎に事故惹起者やヒヤリハットに対して、ドライブレコーダー映像を解析しながら、事故防止や危険についての指導を実施しています。

7. 社内運転適性診断実施

毎年、春の全国交通安全運動週間に社内に設置した運転適性診断のアクセスチェックパソコンに接続されたハンドル・ペダルセットを使ってドライバーの運転に必要な状況判断や操作の正確さ、クセなどをデータとして表わし、乗務員自身の運転適性の自覚を促し、また全乗務員の運転特性を診断して、その結果を運行管理者が指導を行う。



8. 無事故ダルマ運動

弊社では、誰もが交通事故は絶対に起こしてはならない、事故に遭いたくないと交通安全の願いをもたない者は無い。この願いを行動で統一化するために全従業員の共感のもとで発想された。昭和55年秋の全国交通安全運動から、安全ダルマ作成の討議が始まり、昭和56年春の全国交通安全運動で、初代ダルマが完成し、当時京都府警九条署管内交通安全パレードに参加しました。ダルマ制作については、全従業員総がかりで、大工の経験者、左官経験者、工学を学んだ者等で討議が積み重ねられて完成しました。その後も毎年春の全国交通安全運動、夏の事故防止府民運動、秋の全国交通安全運動、年末の事故防止府民運動に無事故ダルマ作成を繰り返すなかで、京都府警察交通企画課の指導のもとで、京都市内各署に無事故ダルマを配置させて頂きました。更には、自動車教習所や小学校にも配置させて頂いております。



(ニュードライバー教習所)



(ヤサカ観光バス株式会社)



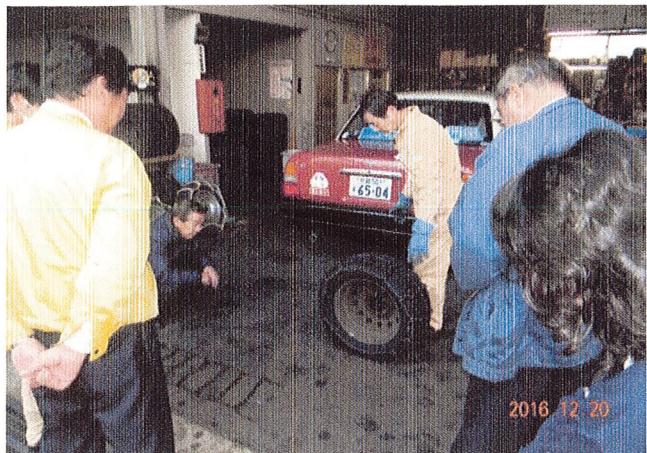
平成 24 年 3 月 15 日京都府警察堀川署が中京署として移転するに伴い、無事故ダルマの引退式に警察官と銀鈴タクシー株式会社社員と光林保育園の園児さん達とのお別れ会を行いました。

9. 社内エコ活動

弊社では、設立当初からゴミの分別、エコ製品の導入に取り組んでいます。



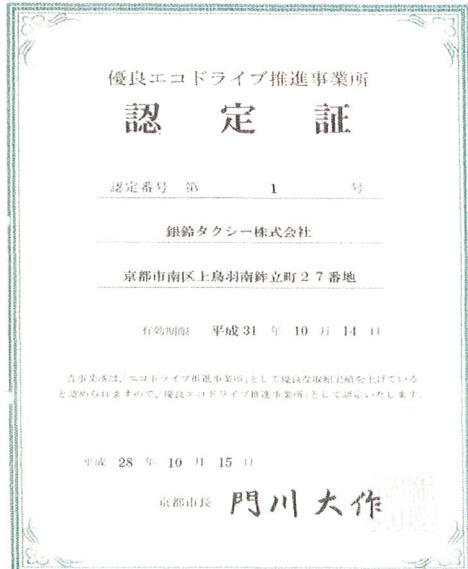
10. 整備講習 タイヤチェーン装着指導



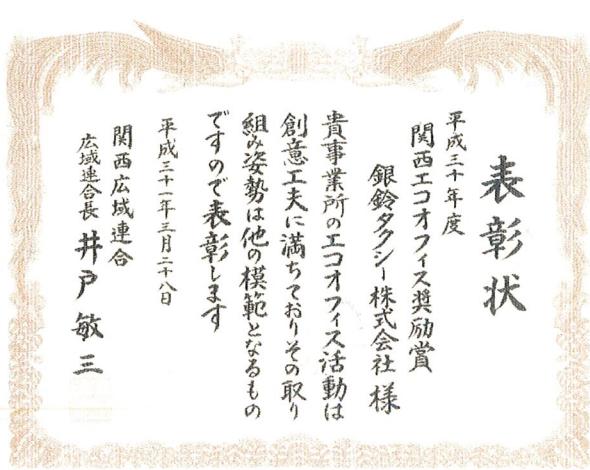
毎年年末 12月 20日に整備課担当者が乗務員全員にタイヤチェーン装着実習を行う。

11. 優良エコドライブ推進事業所認定

平成 28 年 10 月 15 日 京都第 1 号優良エコドライブ推進事業所に認定され、同 10 月 24 日に京都市役所本庁舎にて認定式が行われました。



環境企画部環境技術担当部長 清水様より受領



滋賀県知事 三日月知事様より受領

認定式に、東京交通新聞社、トラポルト、交通界、TaxiJapan 様に取材に来て頂きました

12. 省エネ対策

車庫内で洗車時に通常使うホースの太さを変えて、水の節約運動

太いホース

車庫内はすべて細いホースに交換



13. 2ヶ月毎にエコドライブ講習会を開催



14. 事業所内での環境保全活動推進について

環境保全活動推進のため、事業所内で下記の取り組みを実施します。

1) 事業所内での実施項目

- ①事業所内の空調機の適正温度（冷房：26度／暖房：20度）設定に努める。
- ②不必要的照明の消灯を徹底する。
- ③コピー用紙等の使用削減に努める。
- ④ゴミの分別回収に努める。
- ⑤使い捨て製品の購入を控える。
- ⑥エコマーク製品等を優先的に購入する。

*実施にあたっては、各部署において現状を踏まえ創意工夫して行う。

2) 事務所内でのクールビズの実施

空調機の適正温度（冷房：26度）設定に努めるにあたり、来期も予想される暑さに耐えることができる勤務環境を確保するため、事務所内での軽装勤務を実施する。

実施内容 実施期間中は、事務所内でのカッターシャツの着用・ノーネクタイ等の軽装での勤務を認める。来客対応時については適宜ルールを定める。

実施期間 令和2年6月1日から令和2年9月30日まで

15. 交通事故防止

平成30年4月から31年3月までの事故総件数は、有責事故、無責事故を合わせて70件発生しましたが、平成31年4月から令和2年3月までの事故総件数は78件と8件増加した。交通事故の傾向としては、自転車の信号無視により接触された軽微な事故や被追突事故が増加した。

【睡眠時無呼吸症候群】

平成 29 年度後半から 30 年度は居眠り運転による事故が多発したこと、平成 30 年 6 月 1 日より睡眠不足確認が義務付けられたことを踏まえて会社からは受診者 1 名に対し補助金を支給して SAS 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査を実施しました。スクリーニング検査受診者数 60 名、自主的に病院治療を受けられた方 4 名合計 64 名の内、要検査診断者 20 名となっています。

平成 31 年度から 25 名の方がスクリーニング検査を受診されました。

要検査の診断を受けた方は、病院での入院検査を受けていただき、医師の診察の元、CPAP マスク装着治療をしていただきます。

SAS 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査を実施したことにより、居眠り運転による追突事故減少に繋がった。

環境保全活動（廃油・廃タイヤリサイクル）

弊社独自の環境教育は、自然環境や生活環境といった観点で地域によって異なるものとなるため、タクシー会社の特性など身近な問題に目を向けた教育や学習の内容で構成し、2ヶ月毎に全乗務員を対象とした環境保全エコ・ドライブ研修など身近な活動から始めております。企業内や家庭内の環境問題が地球環境問題につながっていることを認識し、地球環境に配慮した問題解決となるような研修会を行っております。



エンジンオイル廃油は、自社整備工場に設置されている点検ピット下のジャッキで車両から廃オイルを抜き取り、地下タンクに貯めている。また、廃タイヤはリサイクルのため、業者に引き渡して、再生タイヤとして再購入する。

社内グリーン化大作戦



会社玄関前

社内敷地内

毎年、7月頃から会社内敷地にゴーヤを栽培して、グリーンカーテンを作っています。



16. 関西エコオフィス奨励賞受賞 関西広域連合

平成 31 年 3 月 28 日滋賀県庁にて三日月知事より表彰されました。



17. 令和元年第37回交通マナーを高める事故防止コンクールで金賞受賞



18. 新型コロナウィルス対策

新型コロナウィルスが世界的に猛威を奮っている中で、当社では、お客様に安心してご乗車頂けるように全乗務員に手洗い消毒の徹底、車内にはオゾン消臭殺菌機を使ってクリーンな車内空間を提供できるように心掛けております。

